



あの日を忘れない

弥富中学校 ^{あらい}新井 ^{りんか}梨花

【原爆の悲劇を未来に伝える】

1945年8月6日、広島に投下された原子爆弾は、瞬時に広島を焼き尽くし、約14万人の命を奪いました。家や学校は跡形もなく壊れ、笑顔も夢も一瞬で消え去りました。研修で訪れた原爆ドームや資料館には、当時の写真や数多くの遺品があり、その恐ろしさと悲しみを今に伝えていました。

この出来事を過去の単なる悲劇で終わらせず、命の尊さとこれからの平和について自分たちで考え、平和の大切さを学ばすきっかけにしていきたいと思います。広島の人々は、何もかも失い絶望の中でも街を復興させ、今の私たちに「二度と同じ悲劇を繰り返してはいけない」と平和の大切さを伝え続けてきました。その悲劇の中で動いた人々の強さと勇気は、私たちに行動の力を教えてくれます。平和は当たり前ではなく、守り続けなければならないものです。

広島で学んだことを大切に、私たちは日々の生活の中で小さな行動を積み重ね、あの日を決して忘れず、平和を未来へつなぐ責任があります。戦争の悲しみ、苦しみを決して繰り返さないということを誓い、言葉だけでなく、行動で示すことが広島の人々の願いに応えることになると思います。



【今、私たちができること】

広島研修を通して、戦争の悲惨さや多くの命が失われたことを学び、平和の大切さを改めて実感しました。集団で協力することや友達と助け合う大切さも学び、自分の考えを伝える力も少し成長したと思います。今、私たちにできることは、周りの人に思いやりをもち、平和の尊さを忘れずに行動することです。私はこの研修で学んだことを日常生活でも生かし、小さな行動で平和の大切さを伝えていきたいです。

平和とは何か

弥富中学校 ^{あさひな}朝比奈 ^{かい}楷

【広島で見た現実】

広島を訪れた時、最も印象に残ったのは原爆ドームの静寂でした。しかし、その静寂の奥には、かつての喧騒と悲鳴が確かに存在しているように感じられました。崩れた鉄骨と焦げた壁は、言葉よりも雄弁に戦争の悲惨さを語っており、原爆ドームは単なる遺産ではなく、「ここに人々の生活があった」「未来があった」という事実を残し続ける記憶の器です。私はその前に立ち、日常が一瞬で奪われるという現実の重さを改めて突きつけられました。

【「平和を祈る」から「平和を創り出す」へ】

広島での学びは、私に「平和とは行動である」という結論をもたらしました。知識として戦争を知るだけでは不十分で、そこから何を学び、どう生きるかが問われています。たとえ一人の力は小さくても、理解しようとする心が広がれば、それが社会全体の平和へとつながります。

平和とは誰かが用意するものではなく、一人一人が創り出すもの、日常の中で相手を尊重すること、差別や暴力に目をそらさないこと。困っている人に手を差し伸べること。これらの小さな行動の積み重ねが、やがて社会全体の平和につながると 생각합니다。私は広島で得た学びを胸に、これからも「平和を祈る人」ではなく、「平和を創る行動を選び続ける人」でありたいです。平和とは、言葉ではなく生き方で示すべきものだからです。





大藤小学校

学校ホームページ



大藤小学校は113人で、令和8年度のスタートを切りました。【教育目標】「かしこく やさしく たくましく」の達成を目指して、明るくて素直な子どもたちが楽しみながら日々の学校生活を送っています。

入学式・始業式

1年生16人が、期待に胸を膨らませて大藤小学校に入学しました。進級した2～6年生は、「この1年を頑張ろう」という新たな気持ちで始業式を迎えました。



運動会

5月15日(金)に運動会を行いました。今年度の運動会のテーマは「全集中!心をひとつに協力を!!～勝っても負けても笑顔で終わろう～」でした。このテーマのもと、全校児童の頑張る姿がたくさん見られ、集団と一人一人の成長が感じられる運動会となりました。



読み聞かせボランティア

月に1度、朝の読書タイムの時間に地域の方に読み聞かせをしていただいています。読み聞かせが始まると、どの学年のどの子も目を輝かせながら静かに耳を傾ける姿が見られます。





十四山西部小学校

学校目標「なりたい自分になる」のために「学びづくり」「温かさづくり」「たくましさづくり」「つながりづくり」を取り入れて毎日活動しています。子どもたちは、さまざまな活動を通して元気で健やかに成長しています。

キラキラタイム

毎週一回、コミュニケーション力を高めるための活動を行っています。学級単位はもちろん、異学年との交流も行い、幅広くコミュニケーションをとれるようにしています。



給食試食会・親子歯みがき教室

1年生保護者対象に給食試食会・親子歯みがき教室を開催しました。保護者の皆さんは、栄養教諭から給食について説明を聞いて、子どもと同じメニューの給食を試食しました。

その後、学校歯科医・歯科衛生士の先生の指導のもとで、6歳臼歯を守るために歯の染め出しを行い、汚れを落とすためのみがき方について実践しました。



モルモットのホスティング飼育

6月から7月にかけて、地元の獣医さんのご協力でモルモットのホスティング飼育を1年生が行いました。平日は、教室でモルモットの飼育を行い、週末は協力いただけるご家庭に世話をお願いしました。教室の飼育では、「ホスティング飼育の先輩」である上級生もお手伝いに駆けつけてくれました。

子どもたちは、モルモットの飼育を通して、思いやりや協力する気持ちを高めることができました。

